

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2024年12月10日まで（2015年3月30日設定）	
運用方針	アセアン真成長株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてアセアン諸国の株式等（預託証券（DR）を含みます。）に実質的な投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。マザーファンドの運用にあたっては、三菱UFJ国際投信の香港現地法人であるMitsubishi UFJ Investment Services (HK) Limitedから投資助言を受け、三菱UFJ国際投信が運用します。	
主要運用対象	ベビーファンド	アセアン真成長株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	アセアン諸国の株式等を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）         </div>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

## 運用報告書（全体版）

# アセアン真成長株式ファンド （ラップ向け）

第9期（決算日：2019年6月10日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「アセアン真成長株式ファンド（ラップ向け）」は、去る6月10日に第9期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
（受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			（参考指数）		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	（分配落）	税込分配金	期騰落率	MSCI AC ASEAN Index （円換算ベース）	期騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
5期(2017年6月12日)	8,686	0	4.4	84,938.83	6.5	96.7	—	23
6期(2017年12月11日)	10,056	0	15.8	93,813.53	10.4	95.9	—	25
7期(2018年6月11日)	9,611	0	△ 4.4	90,129.77	△ 3.9	96.2	—	17
8期(2018年12月10日)	8,914	0	△ 7.3	86,163.32	△ 4.4	95.2	—	9
9期(2019年6月10日)	8,961	0	0.5	85,153.47	△ 1.2	91.1	—	8

- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
- (注) MSCI AC ASEAN Indexとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの5カ国の株式で構成されています。MSCI AC ASEAN Index（円換算ベース）は、MSCI AC ASEAN Indexをもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI AC ASEAN Indexに対する著作権及びその知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。
- (注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
- (注) 株式組入比率には、新株予約権証券を含めて表示しております。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 )		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	MSCI AC ASEAN Index (円換算ベース)	騰 落 率		
(期 首) 2018年12月10日	円	%		%	%	%
	8,914	—	86,163.32	—	95.2	—
12月末	8,534	△4.3	83,499.75	△3.1	94.8	—
2019年1月末	8,877	△0.4	87,130.95	1.1	95.5	—
2月末	9,220	3.4	89,892.29	4.3	94.9	—
3月末	9,073	1.8	87,739.81	1.8	92.4	—
4月末	9,438	5.9	89,855.82	4.3	93.7	—
5月末	8,858	△0.6	83,705.24	△2.9	90.5	—
(期 末) 2019年6月10日	8,961	0.5	85,153.47	△1.2	91.1	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 株式組入比率には、新株予約権証券を含めて表示しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第9期：2018年12月11日～2019年6月10日

## 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第9期首	8,914円
第9期末	8,961円
既払分配金	0円
騰落率	0.5%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.5%の上昇となりました。

## ▶ 基準価額の変動要因

### 上昇要因

フィリピン株の上昇が、基準価額の上昇要因となりました。

### 下落要因

投資先通貨のうちシンガポールドル、インドネシアルピアなどが円に対して下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

## 投資環境について

### ▶ アセアン株式市況

アセアン諸国の株式についての当期の動きを概してみると、2019年4月頃までの上昇分を5月に失うかたちとなりました。国別ではフィリピンの上昇が目立ちました。

期初には弱含んで推移したアセアン諸国の株式は2019年に入ると、米中通商協議の進展への期待に加え、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長が政策金利の引き上げに慎重な姿勢をみせたこと、さらに米国や中国において堅調な経済指標が発表されたことなどを受けた世界的な株高に連動して上昇しました。

しかし5月には、トランプ米大統領が対中制裁関税の引き上げを表明し、米中の通商摩擦の激化懸念が再燃したことなどを受けて、米国をはじめ世界的に株価は反落し、アセアン諸国も連れ安する結果となりました。

国別では、フィリピンの上昇が他のアセアン諸国と比べて大きくなりました。フィリピンは、物価上昇の落ち着きや改善傾向にある貿易収支など良好な経済環境を背景に上昇しました。なお、当期中にはタイ、インドネシア、フィリピンにおいて国政選挙が実施されましたが、いずれも政権が継続するかたちとなり大きな市況変動要因とはなりませんでした。

### ▶ 為替市況

投資先通貨について期を通じてみると、タイバーツは対円で上昇したものの、シンガポールドル、インドネシアルピア、マレーシアリングgit、フィリピンペソは対円で下落しました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ アセアン真成長株式ファンド（ラップ向け）

アセアン真成長株式マザーファンド受益証券を通じてアセアン諸国の株式に投資しました。

### ▶ アセアン真成長株式マザーファンド

アセアン諸国において、人口動態や所得増加などを背景に構造的な個人消費の増加やインフラ投資の拡大が期待されるなか、中長期的な利益成長性を重視した銘柄選定を行いました。また、個別銘柄の組入比率は業績の確信度も考慮し決定しました。

組入銘柄数は、概ね50銘柄程度を維持しました。期中には成長減速懸念が高まったと判断した銘柄などを売却し、業績の改善や拡大が期待できる銘柄への入れ替えを実施しました。

当期にはインドネシアやタイ、フィリピンの消費関連銘柄やインフラ投資に関連する銘柄などを新たに加える一方、インドネシアの資源関連銘柄を売却するなどのポートフォリオの変更を行いました。

当期の基準価額に影響を与えた主な銘柄は以下の通りです。

#### （上昇銘柄）

WILCON DEPOT INC（フィリピン、小売）：フィリピンでホームセンターを

チェーン展開しています。豊富な品揃えと意欲的な出店などを背景に成長しています。利益率の改善なども評価されて株価は上昇しました。

INTL CONTAINER TERM SVCS INC（フィリピン、運輸）：フィリピンを中心に世界各地でコンテナターミナルの開発、管理、運営に従事しています。グローバルな貿易量の拡大を捉えるべく能力拡張に向けた投資を行っており、利益拡大への期待などにより株価は上昇しました。

#### （下落銘柄）

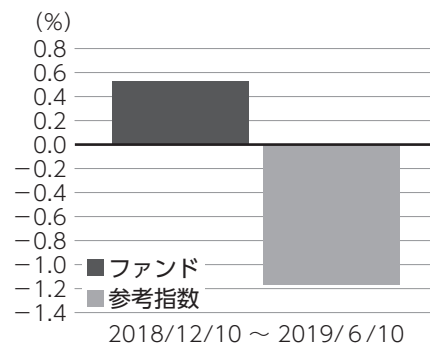
SIAM GLOBAL HOUSE PCL-NVDR（タイ、小売）：タイでホームセンターをチェーン展開しています。売上の伸びは堅調なものの、値下げなどを背景に利益率の悪化が想定以上に進み、今後、売上成長と利益率の維持を両立できるかどうかについて不透明感が台頭したことなどから株価は下落しました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はMSCI AC ASEAN Index（円換算ベース）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第9期
	2018年12月11日～2019年6月10日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	2,230

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

### ▶ アセアン真成長株式ファンド（ラップ向け）

#### 今後の運用方針

アセアン真成長株式マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

### ▶ アセアン真成長株式マザーファンド 運用環境の見通し

アセアン諸国の外国為替市況に影響を与える米国の金融政策について、景気減速懸念を背景にF R Bは緩和スタンスに転じる可能性が出てきており、アセアン通貨の対米ドルでの下落リスクは後退していると考えられます。一方、米中通商協議の不透明感やグローバルな景気減速懸念などはアセアン諸国にとってもリスク要因の一つです。

ただし、今年に入ってタイ、インドネシア、フィリピンで行われた選挙の結果、政権は維持され、安定した政権運営と改革への期待は持続しています。アセアン諸国の実体経済は、中長期的に購買力の向上や政府主導のインフラ投資などを背景に堅調に推移すると考えられます。企業業績についても増益基調が見込まれることから、株式相場はこれらを反映して堅調に推移することを想定しています。

#### 今後の運用方針

上記の見通しのもと、安定した成長を遂

げる企業群に着目したファンド運営を行う方針です。引き続き、消費やインフラ関連銘柄など地域経済の構造要因などを背景に成長を続ける銘柄を選別し、投資してまいります。

独自開発のスクリーニングモデルを活用しつつ、財務分析などの定量調査、企業訪問をはじめとする定性調査を実施し、コンセプトとしている、将来にわたって安定して事業が成長すると見込まれる銘柄の選定を行うことで、中長期的な値上がり益の獲得をめざす方針です。

2018年12月11日～2019年6月10日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	44	0.484	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(39)	(0.431)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(2)	(0.027)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	17	0.192	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（株式）	(17)	(0.190)	
（投資信託証券）	(0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	8	0.085	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(8)	(0.085)	
（投資信託証券）	(0)	(0.001)	
(d) その他費用	11	0.119	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(11)	(0.118)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	80	0.880	

期中の平均基準価額は、9,020円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

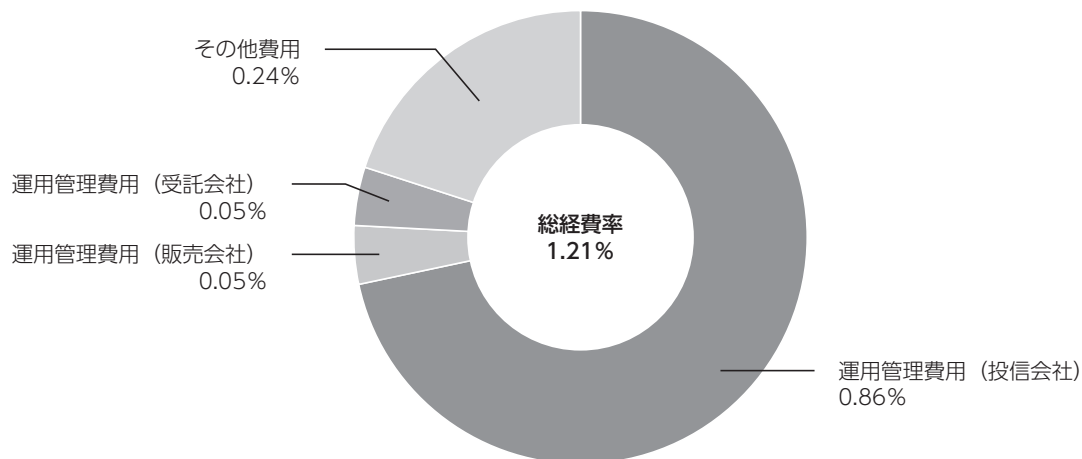
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.21%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年12月11日～2019年6月10日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アセアン真成長株式マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 799	千円 869

## ○株式売買比率

(2018年12月11日～2019年6月10日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	アセアン真成長株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	1,795,090千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,105,735千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.85	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年12月11日～2019年6月10日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;アセアン真成長株式ファンド（ラップ向け）&gt;

該当事項はございません。

&lt;アセアン真成長株式マザーファンド&gt;

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	834	37	4.4	960	34	3.5
為替直物取引	323	55	17.0	435	17	3.9

平均保有割合 0.4%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

### 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	17千円
うち利害関係人への支払額 (B)	0.803千円
(B) / (A)	4.5%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

### ○ 自社による当ファンドの設定・解約状況

(2018年12月11日～2019年6月10日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
10	—	—	10	当初設定時における取得

### ○ 組入資産の明細

(2019年6月10日現在)

#### 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
アセアン真成長株式マザーファンド	千口 9,088	千口 8,288	千円 8,939

### ○ 投資信託財産の構成

(2019年6月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
アセアン真成長株式マザーファンド	千円 8,939	% 99.3
コール・ローン等、その他	67	0.7
投資信託財産総額	9,006	100.0

(注) アセアン真成長株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(2,102,732千円)の投資信託財産総額(2,204,624千円)に対する比率は95.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=108.52円	1 シンガポールドル=79.56円	1 マレーシアリングgit=26.10円	1 タイバーツ=3.46円
1 フィリピンペソ=2.09円	100インドネシアルピア=0.76円		

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年6月10日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	9,006,379
コール・ローン等	65,481
アセアン真成長株式マザーファンド(評価額)	8,939,951
未収入金	947
(B) 負債	45,086
未払信託報酬	45,022
その他未払費用	64
(C) 純資産総額(A-B)	8,961,293
元本	10,000,000
次期繰越損益金	△ 1,038,707
(D) 受益権総口数	10,000,000口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,961円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 10,909,225円  
 期中追加設定元本額 0円  
 期中一部解約元本額 909,225円  
 また、1口当たり純資産額は、期末0.8961円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,038,707円です。

## ③分配金の計算過程

項 目	2018年12月11日～ 2019年6月10日
費用控除後の配当等収益額	63,789円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円
収益調整金額	597,617円
分配準備積立金額	1,568,622円
当ファンドの分配対象収益額	2,230,028円
1万口当たり収益分配対象額	2,230円
1万口当たり分配金額	-円
収益分配金金額	-円

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

## [お知らせ]

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

## ○損益の状況（2018年12月11日～2019年6月10日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 1
支払利息	△ 1
(B) 有価証券売買損益	92,296
売買益	109,563
売買損	△ 17,267
(C) 信託報酬等	△ 45,086
(D) 当期損益金(A+B+C)	47,209
(E) 前期繰越損益金	271,230
(F) 追加信託差損益金	△1,357,146
(配当等相当額)	( 597,617)
(売買損益相当額)	(△1,954,763)
(G) 計(D+E+F)	△1,038,707
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△1,038,707
追加信託差損益金	△1,357,146
(配当等相当額)	( 597,617)
(売買損益相当額)	(△1,954,763)
分配準備積立金	1,632,411
繰越損益金	△1,313,972

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

# アセアン真成長株式マザーファンド

## 《第10期》決算日2019年6月10日

[計算期間：2018年12月11日～2019年6月10日]

「アセアン真成長株式マザーファンド」は、6月10日に第10期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第10期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	アセアン諸国の株式等（預託証書（DR）を含みます。以下同じ。）を主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。株式等への投資にあたっては、事業の安定性・成長性等に着目して銘柄選定を行います。株式等の組入比率は原則として高位を保ちます。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。運用にあたっては、三菱UFJ国際投信の香港現地法人であるMitsubishi UFJ Investment Services (HK) Limitedから投資助言を受け、三菱UFJ国際投信が運用します。
主要運用対象	アセアン諸国の株式等を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		（参考指数）		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	円	騰落中率	MSCI AC ASEAN Index (円換算ベース)	騰落中率			
6期(2017年6月12日)	10,209	7.6	84,938.83	6.5	96.9	—	百万円 779
7期(2017年12月11日)	11,891	16.5	93,813.53	10.4	96.1	—	2,213
8期(2018年6月11日)	11,437	△ 3.8	90,129.77	△ 3.9	96.4	—	2,557
9期(2018年12月10日)	10,674	△ 6.7	86,163.32	△ 4.4	95.4	—	2,246
10期(2019年6月10日)	10,786	1.0	85,153.47	△ 1.2	91.3	—	2,199

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI AC ASEAN Indexとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの5カ国の株式で構成されています。MSCI AC ASEAN Index (円換算ベース) は、MSCI AC ASEAN Indexをもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCI AC ASEAN Indexに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 株式組入比率には、新株予約権証券を含めて表示しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 )		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	MSCI AC ASEAN Index (円換算ベース)	騰 落 率		
(期 首) 2018年12月10日	円	%	86,163.32	%	%	%
12月末	10,674	—	83,499.75	△3.1	95.4	—
2019年1月末	10,223	△4.2	87,130.95	1.1	95.1	—
2月末	10,644	△0.3	89,892.29	4.3	95.7	—
3月末	11,068	3.7	87,739.81	1.8	95.1	—
4月末	10,899	2.1	89,855.82	4.3	92.6	—
5月末	11,348	6.3	83,705.24	△2.9	93.9	—
(期 末) 2019年6月10日	10,658	△0.1	85,153.47	△1.2	90.7	—
	10,786	1.0			91.3	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 株式組入比率には、新株予約権証券を含めて表示しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

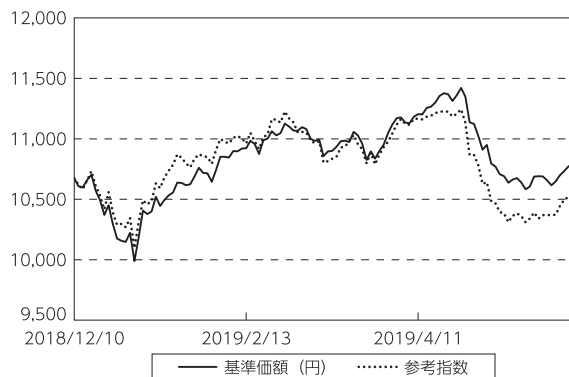
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.0%の上昇となりました。

## 基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ●投資環境について

## ◎アセアン株式市況

- ・アセアン諸国の株式について当期の動きを概してみると、2019年4月頃までの上昇分を5月に失うかたちとなりました。国別ではフィリピンの上昇が目立ちました。
- ・期初には弱含んで推移したアセアン諸国の株式は2019年に入ると、米中通商協議の進展への期待に加え、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長が政策金利の引き上げに慎重な姿勢をみせたこと、さらに米国や中国において堅調な経済指標が発表されたことなどを受けた世界的な株高に連動して上昇しました。
- ・しかし5月には、トランプ米大統領が対中制裁関税の引き上げを表明し、米中の通商摩擦の激化懸念が再燃したことなどを受けて、米国をはじめ世界的に株価は反落し、アセアン諸国も連れ安する結果となりました。
- ・国別では、フィリピンの上昇が他のアセアン諸国と比べて大きくなりました。フィリピンは、物価上昇の落ち着きや改善傾向にある貿易収支など良好な経済環境を背景に上昇しました。なお、当期中にはタイ、インドネシア、フィリ



ンにおいて国政選挙が実施されましたが、いずれも政権が継続するかたちとなり大きな市況変動要因とはなりませんでした。

#### ◎為替市況

・投資先通貨について期を通じてみると、タイバーツは対円で上昇したものの、シンガポールドル、インドネシアルピア、マレーシアリングット、フィリピンペソは対円で下落しました。

#### ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・アセアン諸国において、人口動態や所得増加などを背景に構造的な個人消費の増加やインフラ投資の拡大が期待されるなか、中長期的な利益成長性を重視した銘柄選定を行いました。また、個別銘柄の組入比率は業績の確信度も考慮し決定しました。
- ・組入銘柄数は、概ね50銘柄程度を維持しました。期中には成長減速懸念が高まったと判断した銘柄などを売却し、業績の改善や拡大が期待できる銘柄への入れ替えを実施しました。
- ・当期にはインドネシアやタイ、フィリピンの消費関連銘柄やインフラ投資に関連する銘柄などを新たに加える一方、インドネシアの資源関連銘柄を売却するなどのポートフォリオの変更を行いました。
- ・上記の投資行動の結果、シンガポールドルなどの投資先通貨が円に対して下落したことがマイナス影響となったものの、フィリピンの組入銘柄の株価上昇などにより、基準価額は上昇しました。
- ・当期の基準価額に影響を与えた主な銘柄は以下の通りです。

#### (上昇銘柄)

・WILCON DEPOT INC (フィリピン、小売)：フィリピンでホームセンターをチェーン展開しています。豊富な品揃えと意欲的な出店などを背景に

成長しています。利益率の改善なども評価されて株価は上昇しました。

・INTL CONTAINER TERM SVCS INC (フィリピン、運輸)：フィリピンを中心に世界各地でコンテナターミナルの開発、管理、運営に従事しています。グローバルな貿易量の拡大を捉えるべく能力拡張に向けた投資を行っており、利益拡大への期待などにより株価は上昇しました。

#### (下落銘柄)

・SIAM GLOBAL HOUSE PCL-NVDR (タイ、小売)：タイでホームセンターをチェーン展開しています。売上の伸びは堅調なものの、値下げなどを背景に利益率の悪化が想定以上に進み、今後、売上成長と利益率の維持を両立できるかどうかについて不透明感が台頭したことなどから株価は下落しました。

#### ○今後の運用方針

##### ◎運用環境の見通し

- ・アセアン諸国の外国為替市況に影響を与える米国の金融政策について、景気減速懸念を背景にFRBは緩和スタンスに転じる可能性が出てきており、アセアン通貨の対米ドルでの下落リスクは後退していると考えられます。一方、米中通商協議の不透明感やグローバルな景気減速懸念などはアセアン諸国にとってもリスク要因の一つです。
- ・ただし、今年に入ってタイ、インドネシア、フィリピンで行われた選挙の結果、政権は維持され、安定した政権運営と改革への期待は持続しています。アセアン諸国の実体経済は、中長期的に購買力の向上や政府主導のインフラ投資などを背景に堅調に推移すると考えられます。企業業績についても増益基調が見込まれることから、株式相場はこれらを反映して堅調に推移することを想定しています。

##### ◎今後の運用方針

- ・上記の見通しのもと、安定した成長を遂げる企

業群に着目したファンド運営を行う方針です。引き続き、消費やインフラ関連銘柄など地域経済の構造要因などを背景に成長を続ける銘柄を選別し、投資してまいります。

- ・ 独自開発のスクリーニングモデルを活用しつつ、財務分析などの定量調査、企業訪問をはじめとする定性調査を実施し、コンセプトとしている、将来にわたって安定して事業が成長すると見込まれる銘柄の選定を行うことで、中長期的な値上がり益の獲得をめざす方針です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年12月11日～2019年6月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	円 21 (21) ( 0 )	% 0.193 (0.191) (0.002)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 ) ( 投 資 信 託 証 券 )	9 ( 9 ) ( 0 )	0.085 (0.085) (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	13 (13) ( 0 )	0.119 (0.118) (0.001)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	43	0.397	
期中の平均基準価額は、10,830円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年12月11日～2019年6月10日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	シンガポール	百株 1,575	千シンガポールドル 1,238	百株 8,028	千シンガポールドル 1,654
	マレーシア	9,437	千マレーシアリンギット 4,893	11,321	千マレーシアリンギット 4,578
	タイ	40,714 ( 824)	千タイバーツ 89,451 ( -)	53,694	千タイバーツ 73,227
国	フィリピン	30,592	千フィリピンペソ 41,224	55,913	千フィリピンペソ 78,235
	インドネシア	147,008	千インドネシアルピア 26,615,280	143,503	千インドネシアルピア 36,871,902

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外	シンガポール	千口	千シンガポールドル	千口	千シンガポールドル
	FRASERS CENTREPOINT TRUST	134	322	-	-
	ASCENDAS REAL ESTATE INV TRT	19 ( -)	56 (△ 2)	14	41
国	小 計	153 ( -)	378 (△ 2)	14	41

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は分割・合併および償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2018年12月11日～2019年6月10日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,795,090千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,105,735千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.85

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年12月11日～2019年6月10日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
株式	834	37	4.4	960	34	3.5
為替直物取引	323	55	17.0	435	17	3.9

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	4,344千円
うち利害関係人への支払額 (B)	197千円
(B) / (A)	4.6%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

## ○組入資産の明細

(2019年6月10日現在)

## 外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(シンガポール)	百株	百株	千シンガポールドル	千円	
OVERSEA-CHINESE BANKING CORP	1,657	1,790	1,904	151,526	銀行
DBS GROUP HOLDINGS LTD	861	927	2,260	179,881	銀行
KEPPEL CORP LTD	824	954	577	45,919	資本財
SINGAPORE TECH ENGINEERING	1,265	1,614	658	52,391	資本財
HAW PAR CORP LTD	329	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
UOL GROUP LTD	—	823	571	45,441	不動産
COMFORTDELGRO CORP LTD	1,610	1,555	388	30,928	運輸
SATS LTD	992	400	199	15,848	運輸
FIRST RESOURCES LTD	1,320	—	—	—	食品・飲料・タバコ
SHENG SIONG GROUP LTD	3,110	—	—	—	食品・生活必需品小売り
IFAST CORP LTD	2,548	—	—	—	各種金融
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	14,516 10	8,063 7	6,560 —	521,938 <23.7%>
(マレーシア)			千マレーシアリンギット		
GAMUDA BHD	—	2,970	1,009	26,355	資本財
PUBLIC BANK BERHAD	1,337	1,661	3,890	101,530	銀行
BRITISH AMERICAN TOBACCO BHD	380	—	—	—	食品・飲料・タバコ
QL RESOURCES BHD	1,984	1,664	1,131	29,541	食品・飲料・タバコ
UEM EDGENTA BHD	2,650	3,148	856	22,348	資本財
SYARIKAT TAKAFUL MALAYSIA KE	—	2,090	1,437	37,529	保険
SCIENTEX BHD	2,047	1,520	1,307	34,117	素材
INARI AMERTRON BHD	3,006	1,476	225	5,895	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
V. S. INDUSTRY BERHAD	5,050	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
SERBA DINAMIK HOLDINGS BHD	4,874	4,915	1,970	51,440	エネルギー
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	21,328 8	19,444 8	11,829 —	308,759 <14.0%>
(タイ)			千タイバーツ		
CENTRAL PATTANA PCL-NVDR	—	1,290	9,642	33,363	不動産
KASIKORN BANK PCL-NVDR	1,094	1,217	23,244	80,426	銀行
CP ALL PCL-NVDR	2,200	2,911	23,651	81,835	食品・生活必需品小売り
PTT PCL-NVDR	6,750	6,290	29,563	102,287	エネルギー
AIRPORTS OF THAILAND PC-NVDR	—	2,723	17,971	62,182	運輸
BANGKOK CHAIN HOSPITAL-NVDR	8,357	5,947	9,872	34,157	ヘルスケア機器・サービス
SOMBOON ADV TECH - NVDR	1,945	—	—	—	自動車・自動車部品
TIPCO ASPHALT PUB CO L-NVDR	—	4,395	8,526	29,500	素材
CENTRAL PLAZA HOTEL PCL-NVDR	3,350	—	—	—	消費者サービス
VGI GLOBAL MEDIA PCL-NVDR	—	4,390	4,126	14,278	メディア・娯楽
HANA MICROELECTRONICS-NVDR	860	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
RS PCL-NVDR	—	2,160	3,564	12,331	メディア・娯楽
SIAM GLOBAL HOUSE PCL-NVDR	8,072	3,703	6,296	21,784	小売
SEAFCO PCL-NVDR	8,670	7,301	5,877	20,335	資本財
PLAN B MEDIA PCL-NVDR	14,860	—	—	—	メディア・娯楽
MUANGTHAI CAPITAL PCL-NVDR	—	1,675	9,254	32,020	各種金融
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	56,158 10	44,002 12	151,590 —	524,504 <23.8%>

銘柄	株数	当 期 末			業 種 等	
		株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(フィリピン)	百株	百株	千フィリピンペソ	千円		
SM PRIME HOLDINGS INC	4,818	4,391	17,278	36,112	不動産	
AYALA LAND INC	4,481	4,768	23,744	49,626	不動産	
INTL CONTAINER TERM SVCS INC	1,020	693	9,528	19,915	運輸	
MEGAWORLD CORP	—	15,450	9,378	19,600	不動産	
JOLLIBEE FOODS CORP	900	356	9,813	20,510	消費者サービス	
METRO PACIFIC INVESTMENTS CO	31,700	—	—	—	各種金融	
MEGAWIDE CONSTRUCTION CORP	9,508	4,918	9,737	20,351	資本財	
DOUBLEDRAGON PROPERTIES CORP	—	2,869	7,402	15,470	不動産	
WILCON DEPOT INC	16,481	8,471	14,400	30,097	小売	
MACROASIA CORPORATION	1,973	3,644	7,399	15,464	運輸	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	70,882 8	45,561 9	108,683 —	227,148 <10.3%>	
(インドネシア)			千インドネシアルピア			
RAMAYANA LESTARI SENTOSA TBK	—	25,120	4,069,440	30,927	小売	
TELEKOMUNIKASI INDONESIA PER	24,951	24,560	9,578,400	72,795	電気通信サービス	
BANK CENTRAL ASIA TBK PT	4,713	4,900	14,259,000	108,368	銀行	
GUDANG GARAM TBK PT	639	714	5,745,915	43,668	食品・飲料・タバコ	
SEMEN INDONESIA PERSERO TBK	2,672	1,952	2,254,560	17,134	素材	
UNITED TRACTORS TBK PT	1,993	—	—	—	エネルギー	
INDO TAMBANGRAYA MEGAH TBK P	1,143	—	—	—	エネルギー	
CHAROEN POKPHAND INDONESIA PT	4,066	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
PAKUWON JATI TBK PT	63,278	63,838	4,500,579	34,204	不動産	
MEDIA NUSANTARA CITRA TBK PT	—	21,530	2,454,420	18,653	メディア・娯楽	
MITRA ADIPERKASA TBK PT	—	33,800	2,974,400	22,605	小売	
MAYORA INDAH PT	—	14,850	3,801,600	28,892	食品・飲料・タバコ	
ACE HARDWARE INDONESIA	63,151	17,640	3,060,540	23,260	小売	
PP PERSERO TBK PT	16,400	7,720	1,520,840	11,558	資本財	
INDUSTRI JAMU DAN FARMASI SI	40,813	18,900	1,814,400	13,789	家庭用品・パーソナル用品	
MEDIKALOKA HERMINA TBK PT	8,200	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	232,019 12	235,524 12	56,034,094 —	425,859 <19.4%>	
合 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	394,904 48	352,595 48	— —	2,008,209 <91.3%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

## 外国投資信託証券

銘柄	口数	当 期 末			比 率
		口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(シンガポール)	千口	千口	千シンガポールドル	千円	%
FRASERS CENTREPOINT TRUST	—	134	337	26,865	1.2
ASCENDAS REAL ESTATE INV TRT	214	219	640	50,923	2.3
合 計	口 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	214 1	353 2	977 —	77,789 <3.5%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率および合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2019年6月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 2,008,209	% 91.1
投資証券	77,789	3.5
コール・ローン等、その他	118,626	5.4
投資信託財産総額	2,204,624	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (2,102,732千円) の投資信託財産総額 (2,204,624千円) に対する比率は95.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=108.52円	1 シンガポールドル=79.56円	1 マレーシアリングギット=26.10円	1 タイバーツ=3.46円
1 フィリピンペソ=2.09円	100インドネシアルピア=0.76円		

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年6月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,204,624,461 円
コール・ローン等	108,733,251
株式(評価額)	2,008,209,330
投資証券(評価額)	77,789,312
未収入金	5,992,661
未収配当金	3,899,907
(B) 負債	4,828,559
未払金	2,738,815
未払解約金	2,089,551
未払利息	193
(C) 純資産総額(A-B)	2,199,795,902
元本	2,039,496,028
次期繰越損益金	160,299,874
(D) 受益権総口数	2,039,496,028口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,786円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 2,104,723,004円  
 期中追加設定元本額 52,018,313円  
 期中一部解約元本額 117,245,289円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0786円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

アセアン真成長株式ファンド	2,031,207,551円
アセアン真成長株式ファンド(ラップ向け)	8,288,477円
合計	2,039,496,028円

## ○損益の状況 (2018年12月11日～2019年6月10日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	27,482,664 円
受取配当金	27,500,787
受取利息	389
支払利息	△ 18,512
(B) 有価証券売買損益	△ 3,180,316
売買益	145,082,851
売買損	△148,263,167
(C) 保管費用等	△ 2,682,606
(D) 当期損益金(A+B+C)	21,619,742
(E) 前期繰越損益金	141,917,382
(F) 追加信託差損益金	5,306,763
(G) 解約差損益金	△ 8,544,013
(H) 計(D+E+F+G)	160,299,874
次期繰越損益金(H)	160,299,874

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。